

砂防の仕事ってどんなこと？

樽前山が噴火し泥流が発生すると、苫小牧市一帯に大きな被害を及ぼすことが予想されています。さらに、本道の生活や産業を支える鉄道、高速道路、国道、空港、港湾などにもその被害が及び、本道のみならず全国の社会機能に与える影響も甚大なものになるおそれがあります。被害を軽減する上で、噴火が起きる前の対策が重要であるため、平成6年度に樽前山を国直轄火山砂防事業とし、着手しました。特に大量の泥流が流れ、大きな被害の発生が想定される溪流に対して、砂防設備の整備を進めています。

また、砂防設備の整備とともに、発災時に「被害を出来る限り軽減」するため、緊急時に実施する対策（ハード対策）の検討や監視設備の整備（ソフト対策）等、火山噴火緊急減災対策を進めています。



樽前山



工事の予定

監視設備

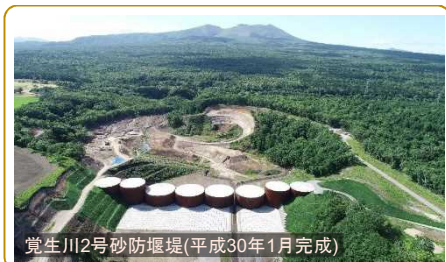


赤外線監視カメラ

樽前山火山対策防災拠点



活火山である樽前山の近くには、北海道の海と空の玄関としての苫小牧港や新千歳空港が位置しています。



覚生川2号砂防堰堤(平成30年1月完成)



熊の沢川3号砂防堰堤(施工中)



苦小牧川遊砂地(完成済み)

【見学を希望される方へ】 室蘭開発建設部では「出前講座」を実施しており、お役立て頂ければ幸いです。詳しくは、室蘭開発建設部HPをご覧ください。（右のQRコードより「室蘭開発建設部からの情報」⇒「出前講座」）（対象は、公共性・公益性のある団体・機関等(市民団体、学校法人、地方公共団体、公益法人等)とさせていただきます。）

